

「こころの絆創膏キャンペーン」実施報告

総務委員会広報



3月4日(火)名古屋市の自殺予防キャンペーンの一環として『こころの絆創膏』を市民の方に配布しました。自殺と深い関係があるうつ病や不眠の症状・相談員などを掲載しています。

金山総合駅内で名古屋市のスタッフが3人来て、開会式の挨拶がありました。北や南の街頭で、全16区が出勤時と退勤時に2グループに分かれて絆創膏を手渡しました。

こなみ会は朝8時から9時までで5名参加しました。当日は雨模様のととても厳しい環境でした。場所は駅の構内ではなくアスナル側の外だったので、とても寒かったです。それでも皆さんは愚痴も言わず、一人100枚持って所定の場所に移動しました。

JR、名鉄、地下鉄の改札口の近くでは大勢の人通りがありますが、こなみ会に与えられた場所はあまり大勢の人が歩いていないところでした。おまけに「バスを待っている人には配らないように」という条件もあり大変でした。でも目を合わせると受け取ってくれる人が多くいたので頑張って粘り強く声をかけました。やはりにっこり笑って差し出すとよいようです。寒い日だったのでポケットに手を入れている人は受け取ってくれない人が多かったです。

皆さん協力して励まし合い、それぞれの持ち分を配り終えることができました。参加の皆さん、お疲れ様でした。

